
2011年3月期 決算説明会

2011年5月25日

株式会社 **クロスキャット**

Cross Computer Application Technology

東日本大震災において被災された皆様へ

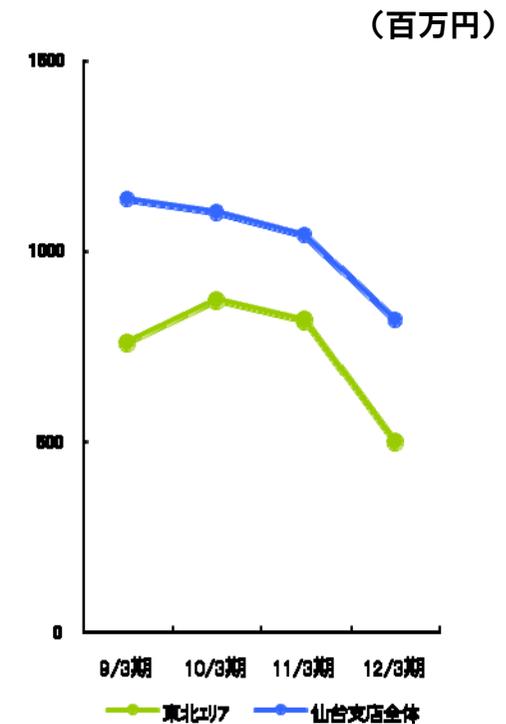
このたびの東日本大震災により
被害を受けられた皆様には、
心よりお見舞いを申し上げますと共に、
一日も早い復旧復興を
心よりお祈り申し上げます。

東日本大震災の影響

従業員の人的被害なし

新事務所へ移転（6月）

東北エリアにおける売上高



東日本大震災の影響

- ・ 仙台支店が被災（3月18日より業務再開）
被災に伴う特別損失を28百万円計上（11/3期）
- ・ 多数のお客様が被災し、復旧途上

震災後の事業環境と当社の使命

1. 震災後の情報化投資の動向

震災対応が優先され、情報化投資意欲は弱含み。
一方、危機管理の意識の高まりと共に、クラウドへの関心は高い。

2. 当社の使命

ライフラインである情報基盤を支える企業として、
震災地区を復興させる一助を担いたい。

決算の概要



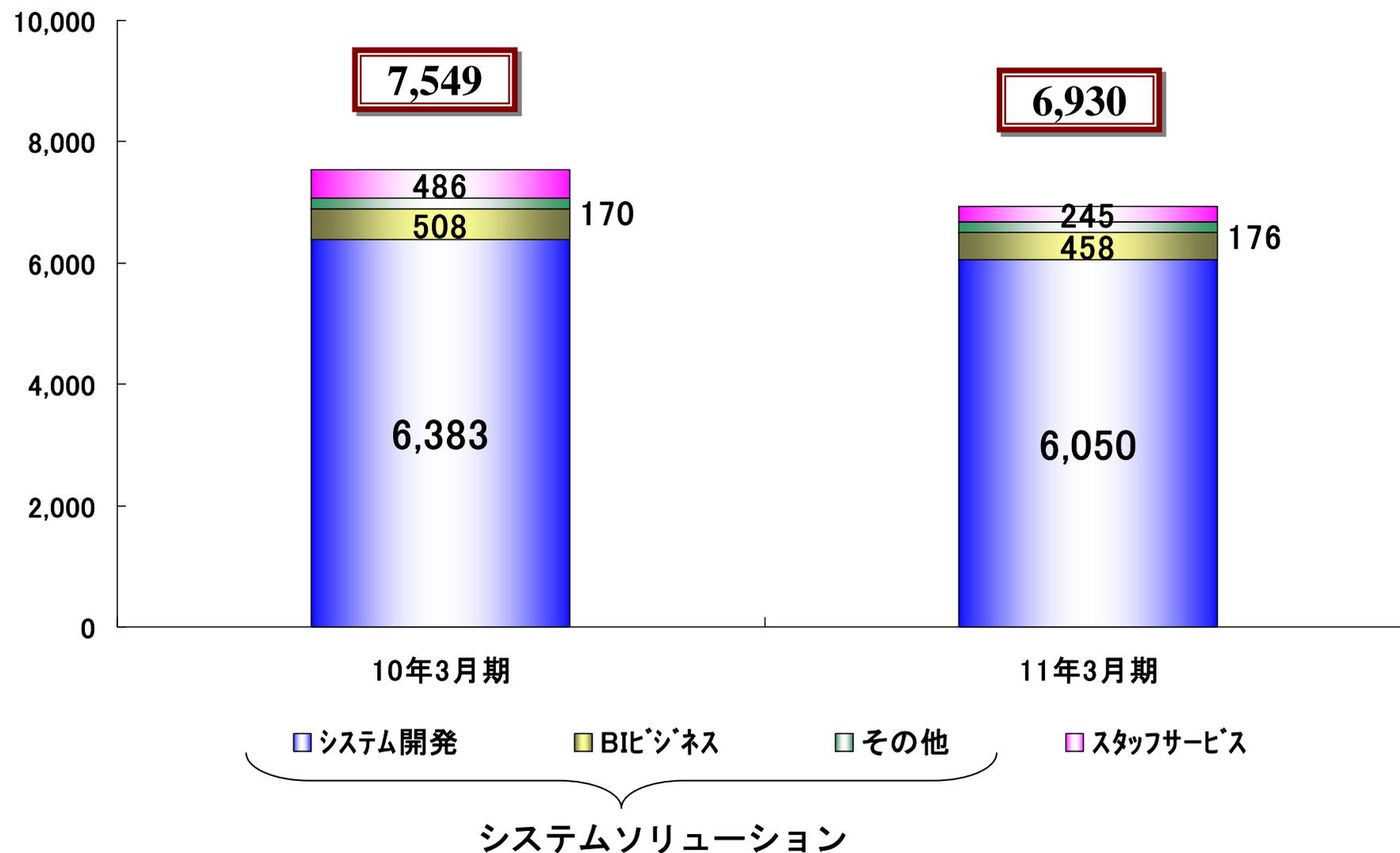
2011年3月期決算の概要(対前年同期比)

(単位:百万円、%)

	2010年3月期		2011年3月期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減比
売上高	7,549	100.0	6,930	100.0	▲ 8.2
売上総利益	1,319	17.5	1,238	17.9	▲ 6.2
販売管理費	1,129	15.0	1,058	15.3	▲ 6.3
営業利益	190	2.5	180	2.6	▲ 5.3
経常利益	204	2.7	218	3.2	7.0
当期純利益	80	1.1	198	2.9	145.9

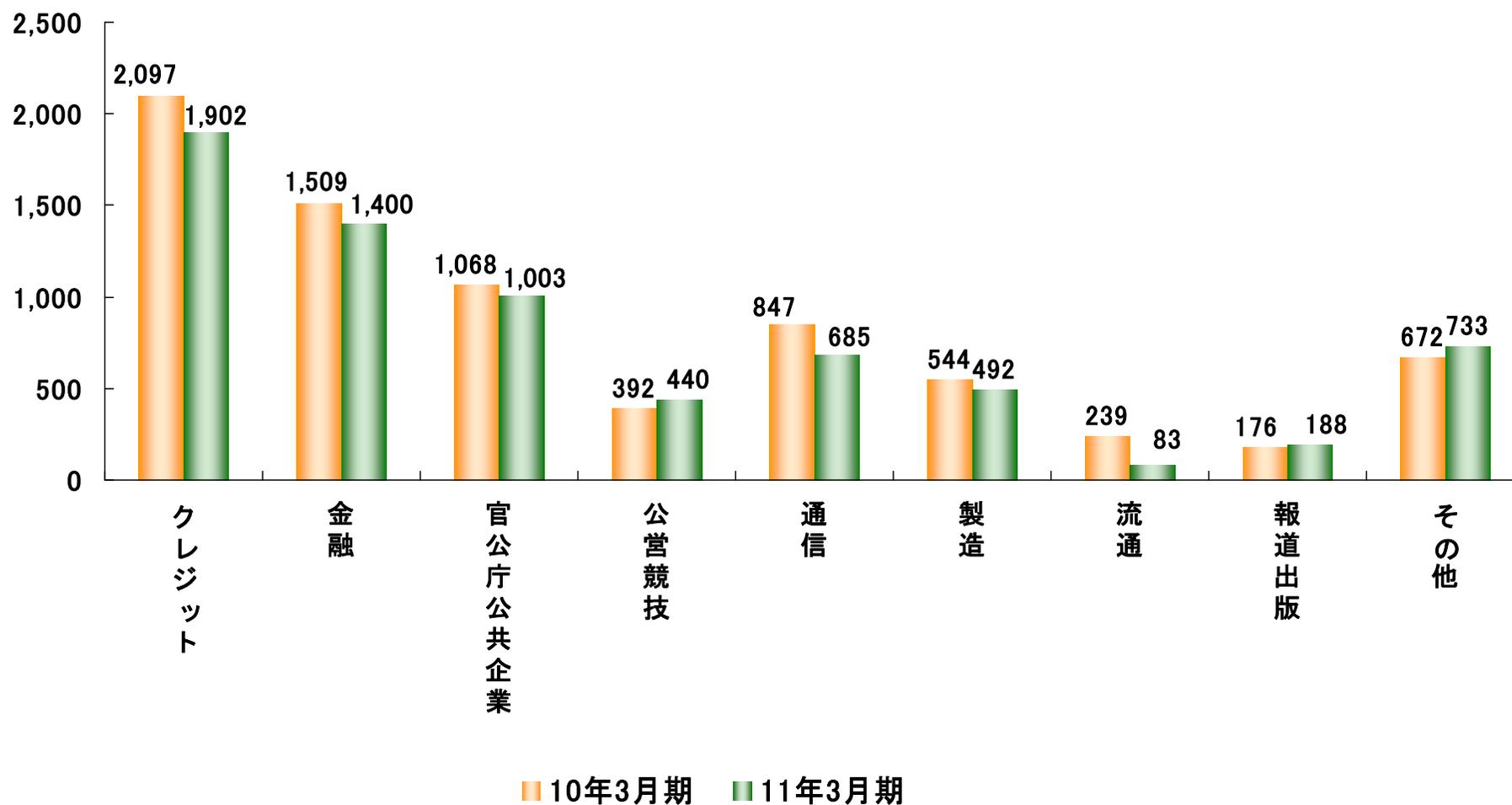
事業別売上高

(百万円)

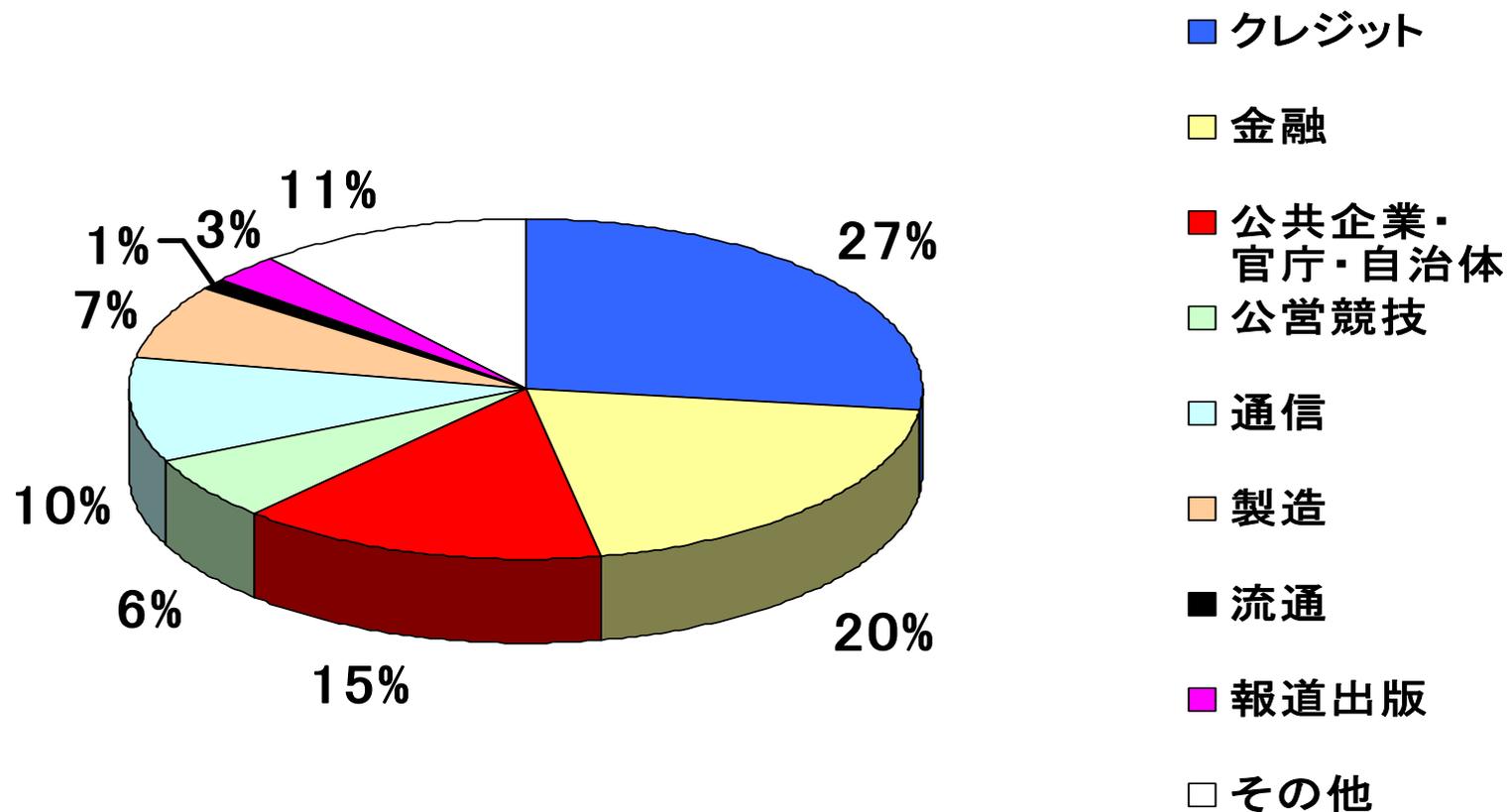


業種別売上高

(百万円)



業種別売上高 構成比



2012年3月期の見通し



2012年3月期決算予想の概要

(注) 連結と個別で比較

(単位: 百万円、%)

	2011年3月期 連結		2012年3月期 個別 (予)		
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減比
売上高	6,930	100.0	7,000	100.0	1.0
売上総利益	1,238	17.9	1,264	18.1	2.1
販売管理費	1,058	15.3	1,084	15.5	2.5
営業利益	180	2.6	180	2.6	0.0
経常利益	218	3.2	190	2.7	▲13.0
当期純利益	198	2.9	110	1.6	▲44.6

コアコンピタンス強化の取り組み

1. BIをコアとした意思決定支援システム

- ・大手BIベンダーとの協業強化



国内初の「Oracle Business Intelligence Foundation Specialization」の認定

- ・テンプレートの活用による導入促進

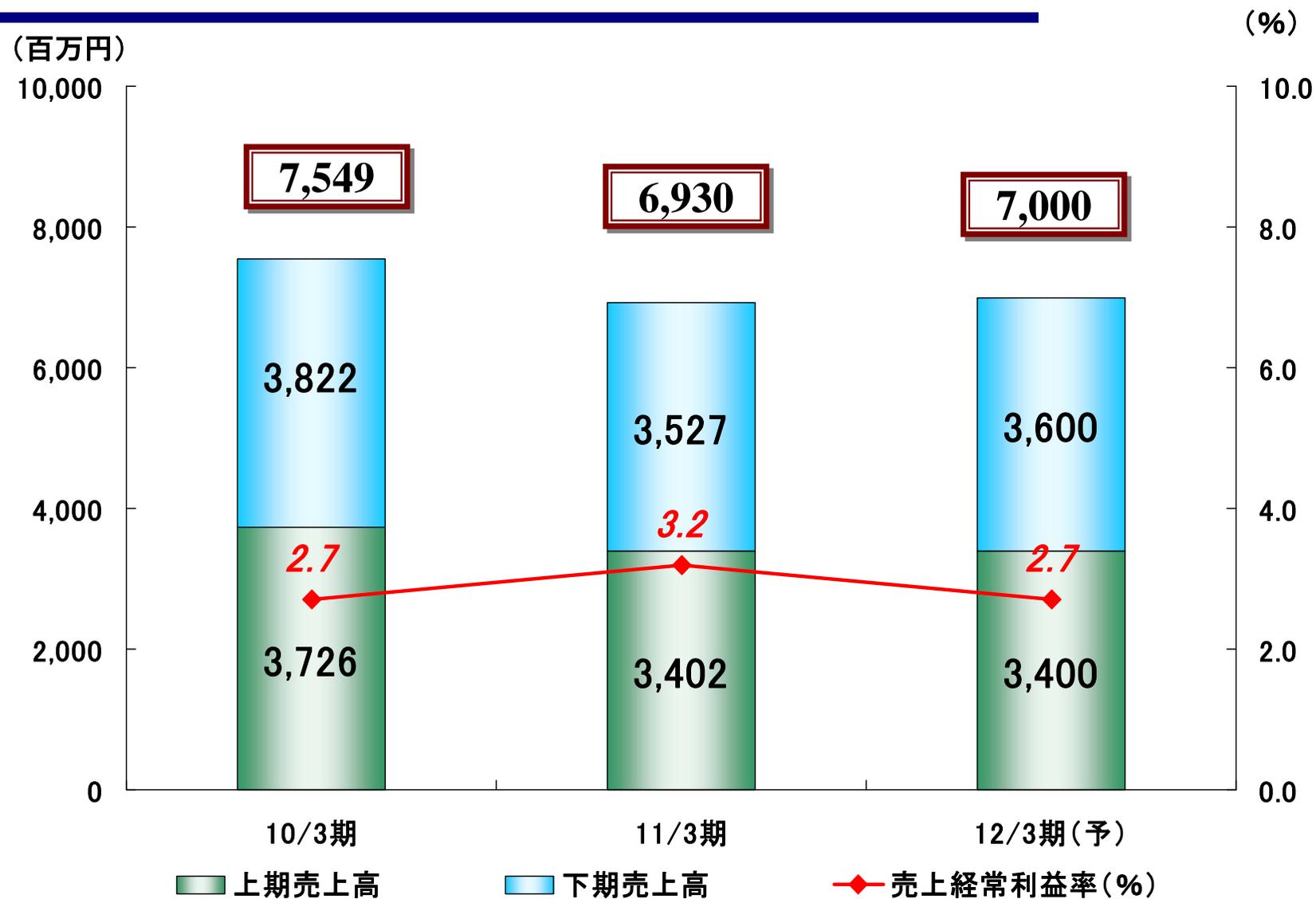
2. クレジット関連システム

- ・貸金業法・割賦販売法改正等の制度改革対応はほぼ完了
- ・合併や統合に伴う大規模開発が一部本格化

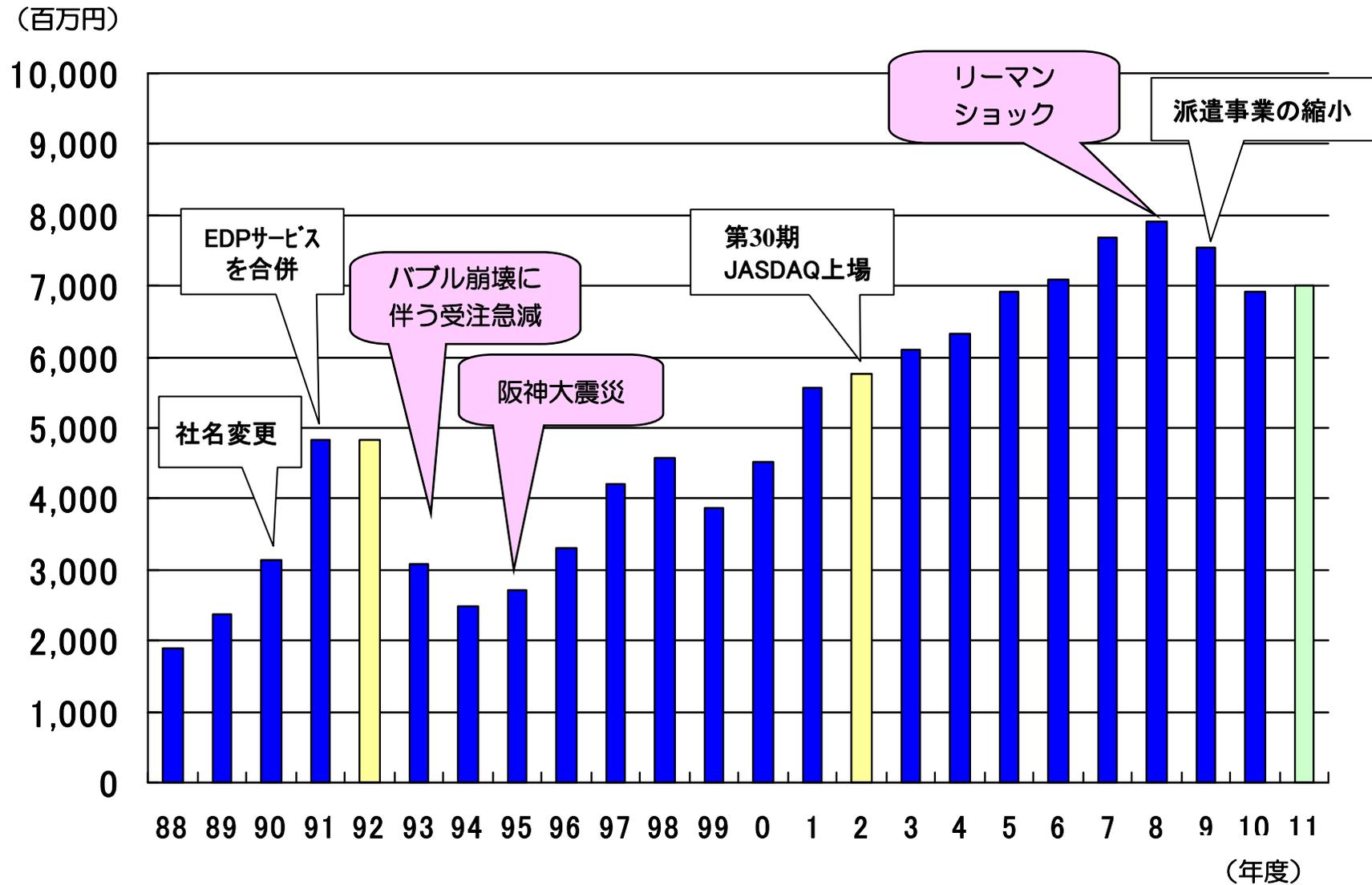
3. 官公庁関連システム

- ・入札案件の強化（中央官庁から地方自治体まで）

売上高、経常利益率の推移



売上高 推移



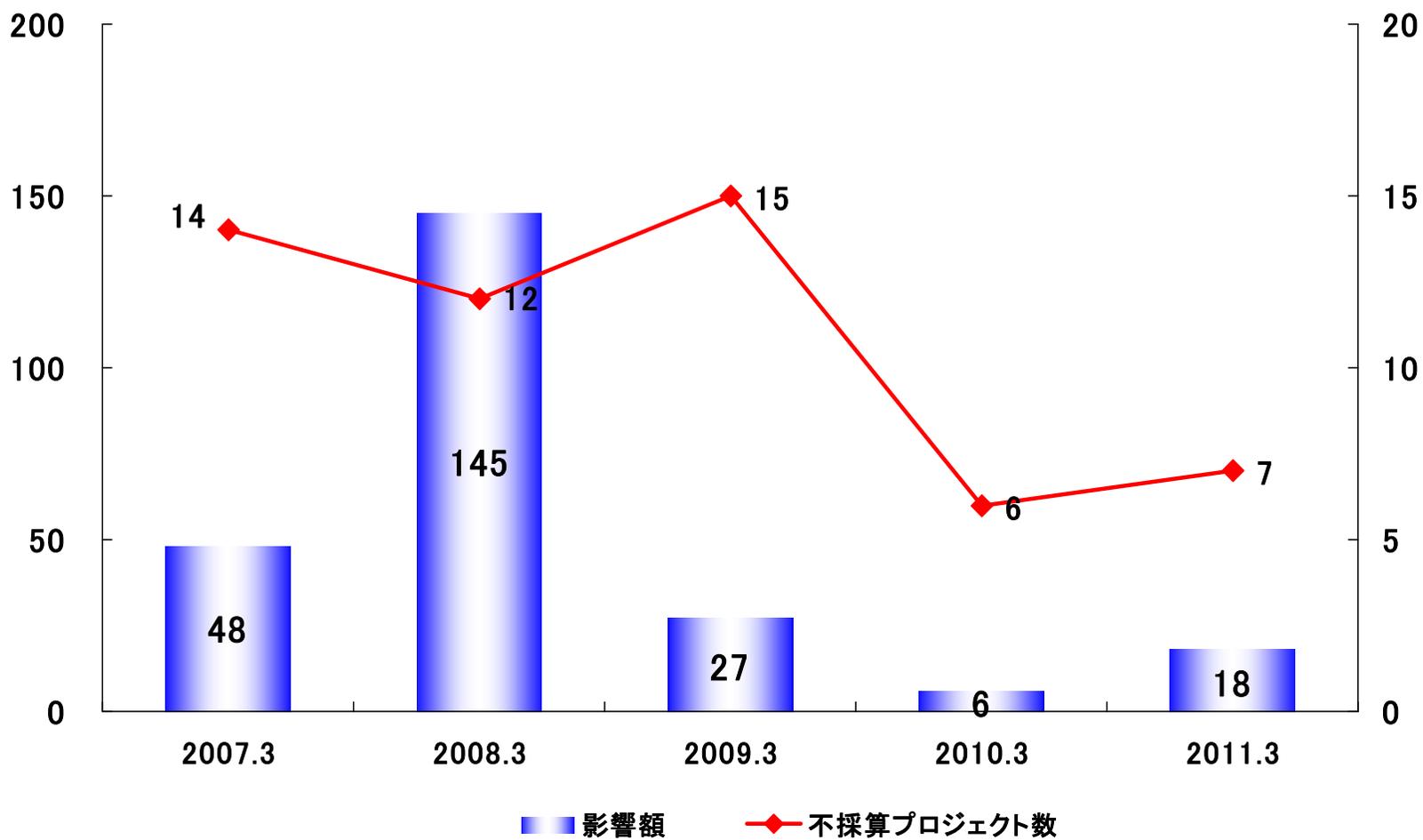
2011年3月期決算の補足説明



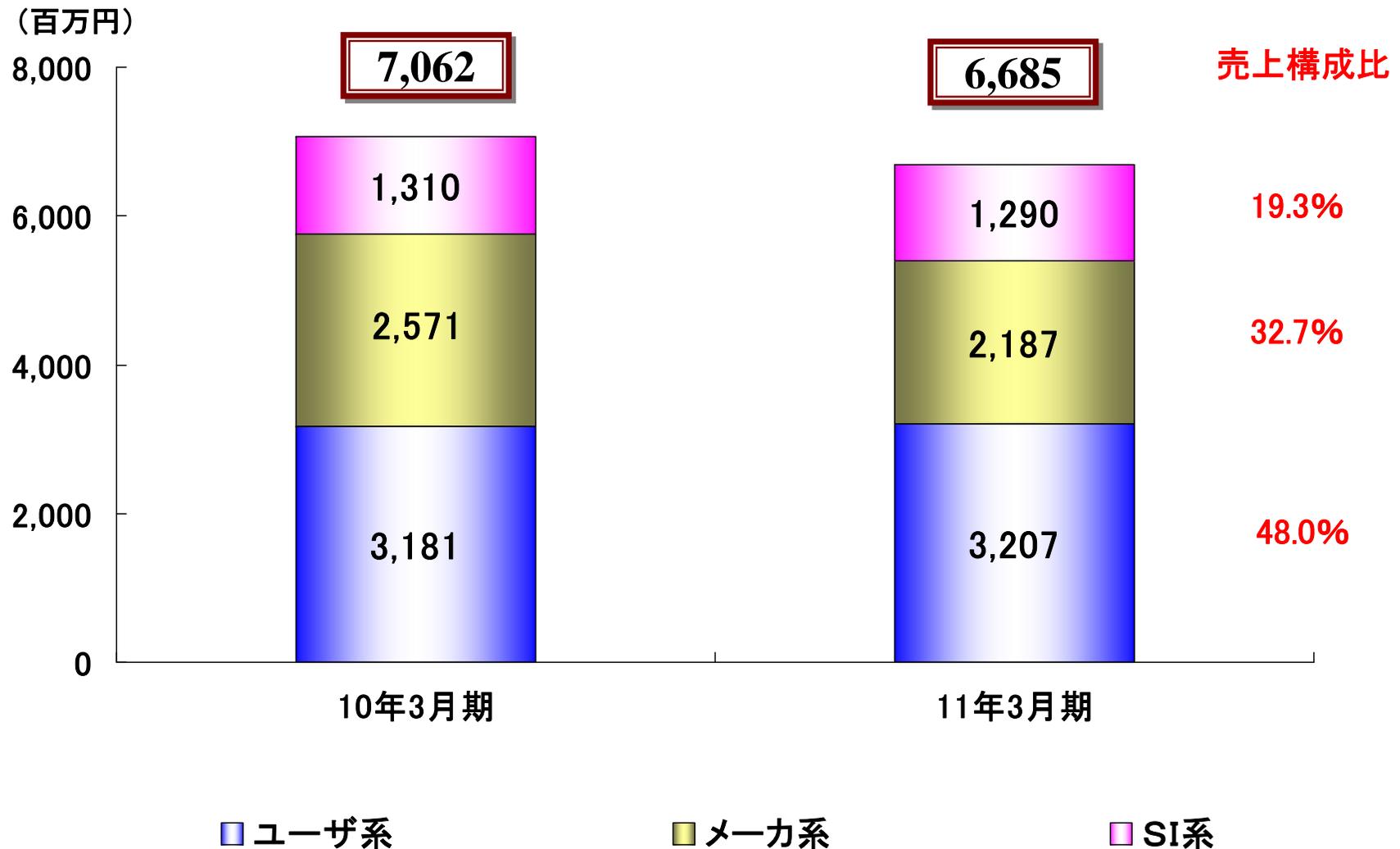
不採算プロジェクトの金額と件数

(百万円)

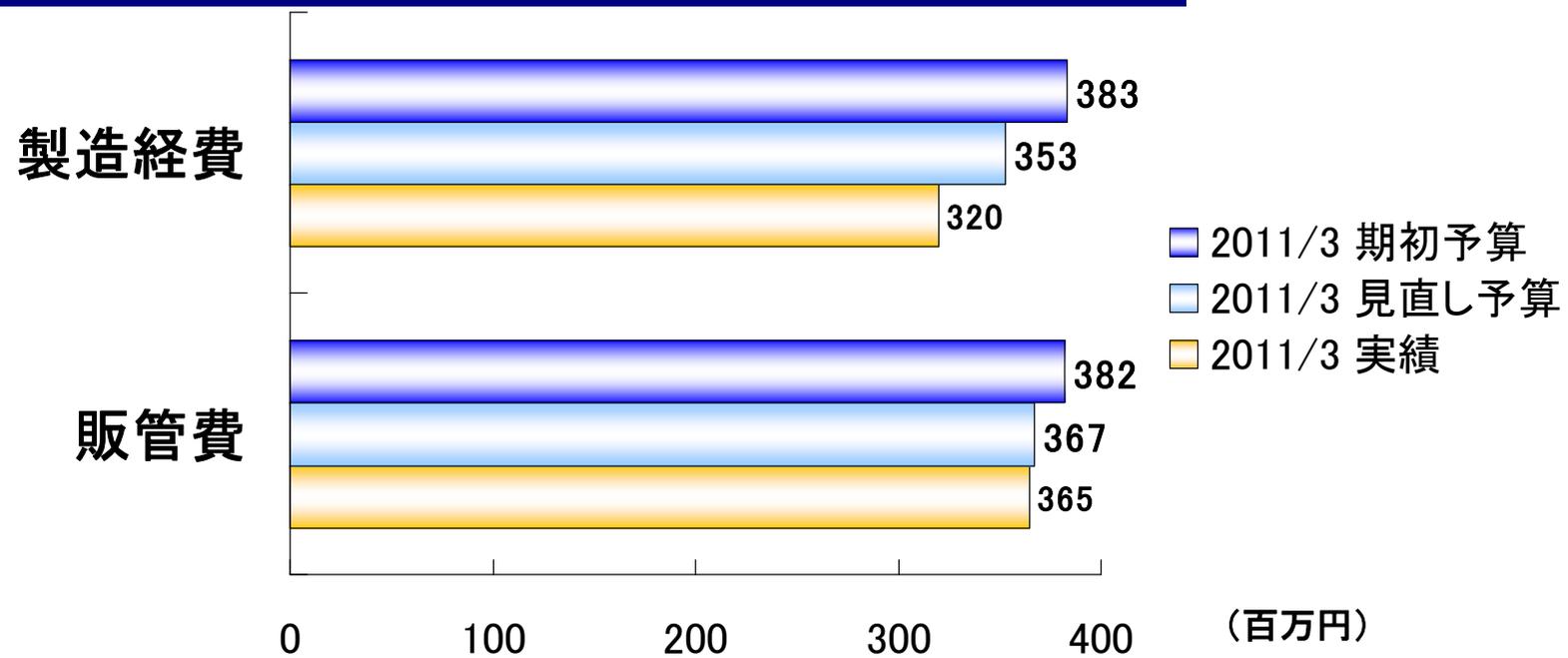
(件)



契約先別売上高(システムソリューション)



経費削減の取組み（人件費は除く）



(製造経費) 見直し予算353百万 ⇒ 320百万円

TV会議で出張費削減等

(販管費) 見直し予算367百万 ⇒ 365百万円

各項目で削減

営業利益の増減要因分析(対前年同期比)

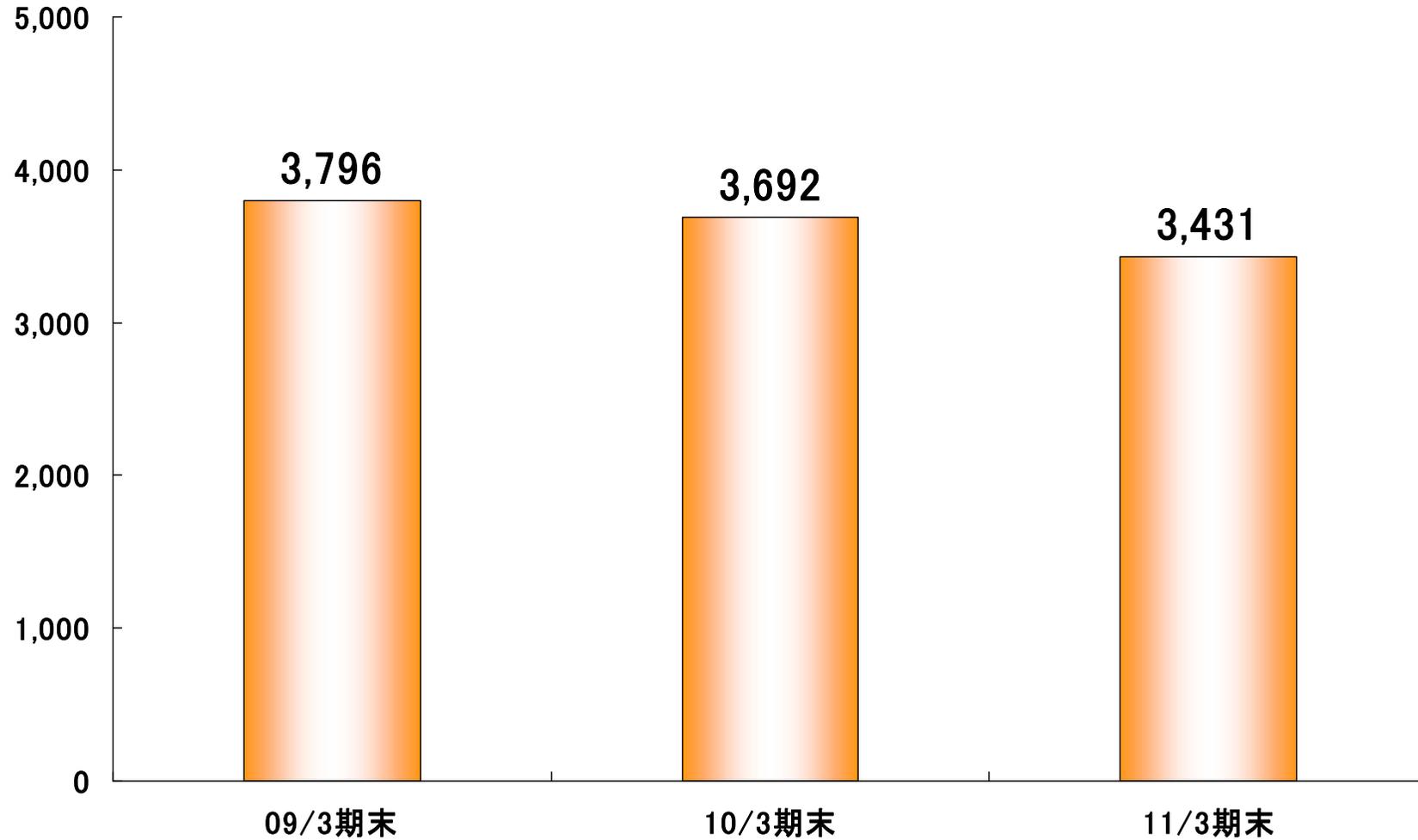
営業利益	2010年3月期	2011年3月期	増減額	(百万円)
	190	180	▲10	
システムソリューションの売上減少		▲ 53	}	売上総利益 ▲ 57百万円
受注単価の下落等		▲ 46		
製造経費の削減(前期比較)		+ 42		
販売管理費の削減		+ 24		販管費・減少 + 24百万円
子会社の売上減少		▲ 28	}	子会社事業 の整理 +23百万円
子会社の販売管理費の減少		+ 51		
計		▲ 10		

2012年3月期の補足説明

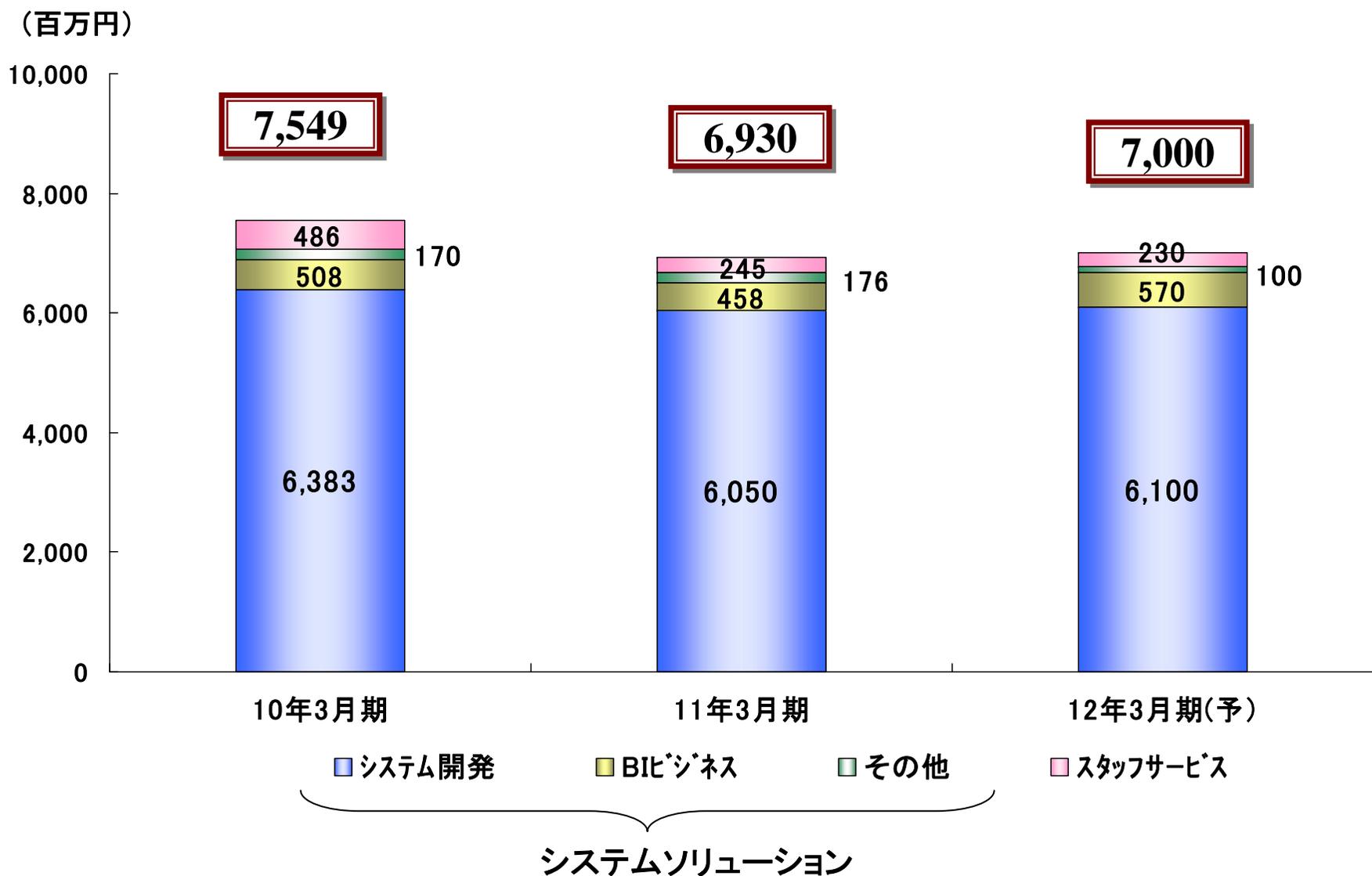


受注残(システムソリューション)

(百万円)

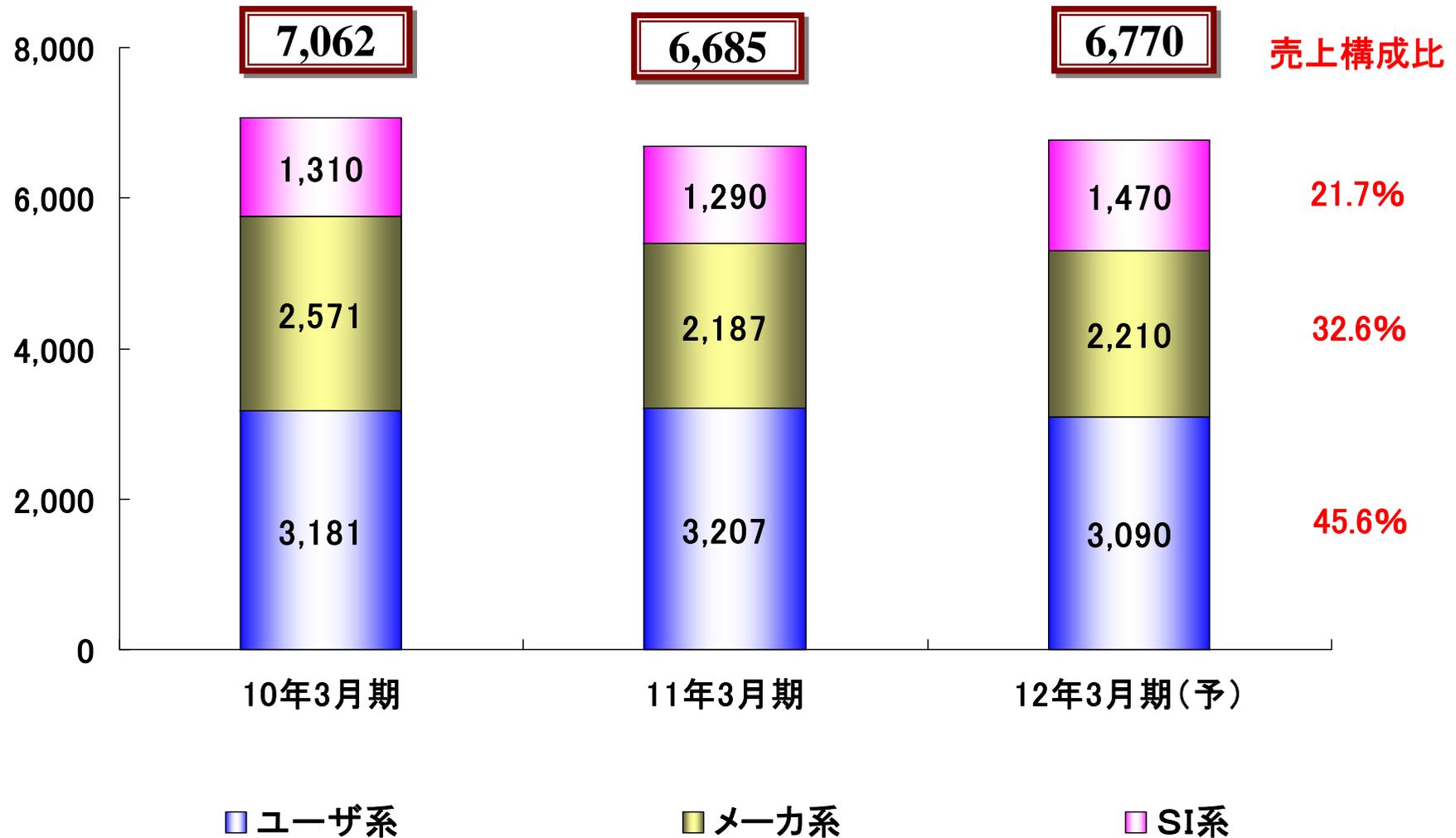


事業別売上高

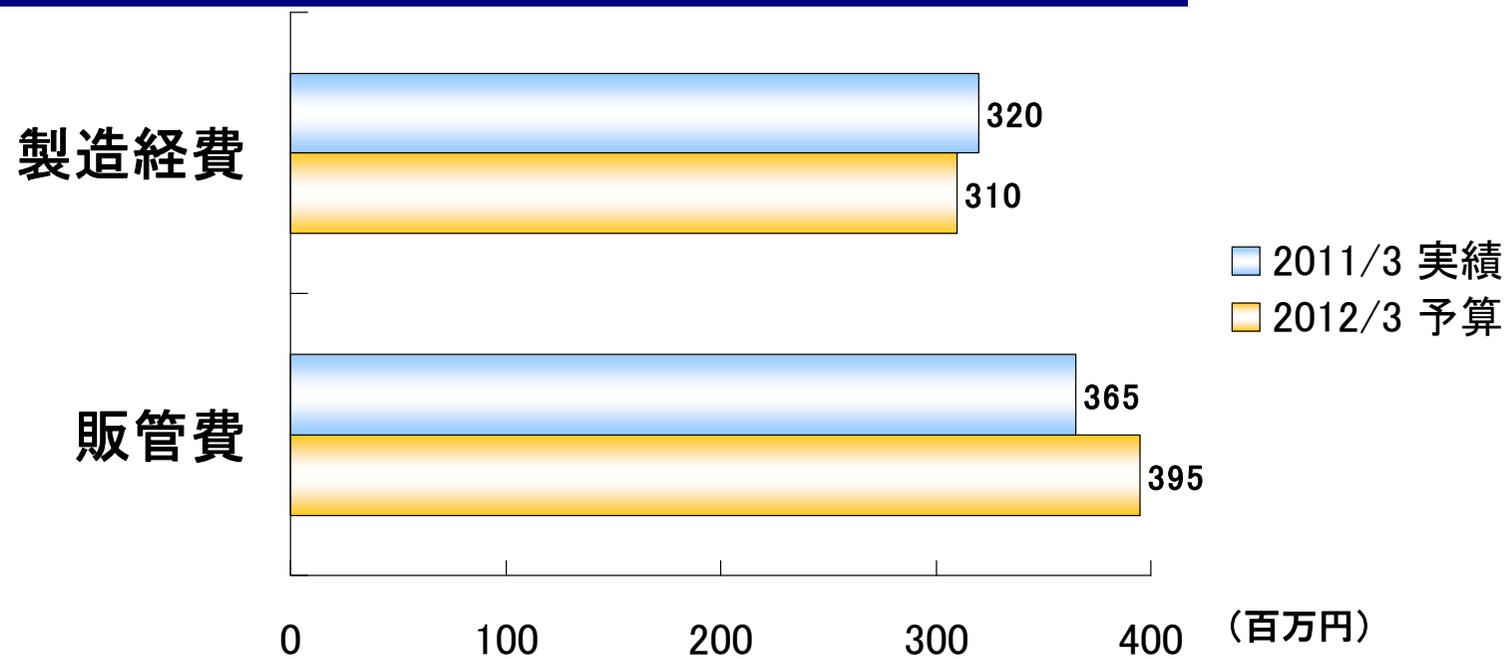


契約先別売上高(システムソリューション)

(百万円)



経費削減の取組み（人件費は除く）



（製造経費） 2012／3期の予算 ⇒ 310百万円

消耗品等の削減

（販管費） 2012／3期の予算 ⇒ 395百万円

震災対応等の増加考慮

2012年3月期決算予想 営業利益の増減要因分析

営業利益	2011年3月期	2012年3月期(予)	増減額 (百万円)
	180	180	増減なし
売上の増加	19	}	売上総利益 +29百万円
製造経費の削減	10		
震災対応による増加	▲ 39		販管費・増加 ▲39百万円
子会社の整理による改善	10		子会社整理・改善 +10百万円
計		±0	

*** 本資料についてのご注意**

本資料は、2011年3月期の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている当社グループの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。